



内田精彦 議員

## 岩屋寺周辺の現状、道路復旧等 どう考えているのか

**町長** 参道となる町道は本年度中に  
改修する

**問** 岩屋寺周辺の現状、特に参道、町道馬場岩屋寺線の状況、道路復旧等について。

**答** 町として今後、岩屋寺の整備あるいは切開けに向かっている整備等いろんな課題等があるが、可能なところから少しずつやっていく必要がある。参道となる道路は、町道であり、本年度中に改修する計画にしている。

**問** 整備した鬼の舌震遊歩道の内訳について。

**答** 若月農林土木課長 全体事業費7億6千7万9千円。内訳は遊歩道820m、2億5千263万8千円。つり橋100m、2億7千90万円。既存の歩道の修理、修繕整備2千366万4千円。用地取得94万1千94



円、1億7千26万円。事務費が20万円。財源は辺地債を7億6千万円充当した。

**問** 遊歩道の一般開放が8月11日にあったが、観光客の動きに何か違いが生じているのか、誘致対策、集客対策をどう考えているのか。

**答** 本山観光推進室長 盆の期間中はかなりのお客が駐車し久しぶりにぎわいを見せた。現在も土日を中心に10〜20数台の駐車がある。集客対策については、秋の本格的な紅葉シーズンを前にオープニングセレモニーを10月末に予定をしており、新聞・チラシ・旅行雑誌・インターネットなどを十分に活用し、県内・山陽・関西方面へのPR、商工会とのイベント等の企画を協議しながら観光客の集客に努める。

**問** 少子化対策・子育て支援の町独自の保育料（国の基準より低く設定）とは。

**答** 若月子育て支援課長 3歳以上児については、

保育料の上限を1万5千円としている。一例は、三歳未満児の場合、国が1万9千500円のところを本町では1万4千円。三歳以上の子供、国が6千円のところを4千500円にしている。

**問** 多子世帯保育料軽減とは、平成24年度の実績について。

**答** 若月子育て支援課長 奥出雲町では、国の施策に上乗せした軽減措置を行い、同時入所の場合、国の2分の1に第2子はさらに2分の1の軽減を合わせ、4分の1としている。なお、平成24年の軽減総額は2千900万円である。なお昨年の数値だが児童1人当たり保護者の負担軽減総額は7万1千300円である。

**問** 家庭での子育て者に、金銭面を含め具体的な支援がない。何らかの支援が必要では。

**答** 若月子育て支援課長 6月議会ですべての子育て会議の条例を制定した。今年中に子育て家庭

のお宅へアンケート調査を実施し、それらを参考にしながら、いろいろな方の声に耳を傾けながら本町にあった誰もが安心して子育てができるような支援策を考える。



改修が待たれる参道（馬場岩屋寺線）



完成した舌震の恋吊橋